事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目			タレント発掘・一貫指導育成事業		
助成事業者名			公益財団法人日本テニス協会		
事業名			トレセンシステム事業		
事業実施期間			平成　30　年　4　月　1　日　～　平成　31　年　3　月　31　日 （延べ　171　日間）		
事業の成果			本事業を実施することにより、競技者育成の底辺となる若年層のジュニア選手からトップレベルのジュニア選手まで、ブロックトレセン（富山・山梨・大阪・兵庫・島根・香川・徳島・愛媛・大分・沖縄）、エリアトレセン（西日本）、ナショナルトレセンを通じて一貫した育成と強化を実施することができた。		
事業に対する評価			ほぼ予定通りの活動日数で実施することができた。前年度の課題として、ブロックとエリアに関する派遣指導者の数を増やすことを課題として挙げたが、本年度も大幅に改善することはできず、一部の指導者に大きな負担を強いる結果となってしまった。来年度も新潟、静岡、佐賀の3ブロックが増える見込みであるため、指導者の育成と確保が引き続き課題となる。		
事業計画及び実績				年度当初計画	実績
			延べ参加者数	1,568　人	1,088　人
			活動日数	176　日	171　日
			延べ指導者数	68　人	229　人
			各年代の代表選手輩出数	16　人	11　人
事業の実施方法	第三者への委任（事務委任等）の有無		☐ 有　☑ 無	※第三者への委任（事務委任等）が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること	
	委任先の組織名称				
	委任の内容				
実施した事業の内容			事業は一年間を通じて開催。ブロックトレセンは富山県、山梨県、兵庫県、愛媛県、島根県、大阪府、香川県、大分県に加え、本年度より徳島県と大分県でも実施した。エリアトレセンは西日本トレセンとして5回実施。ナショナルトレセンは男女合わせて26回実施した（そのほかに男子の15回を自己財源により実施）。		
情報公開	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法（複数選択可）	☑ HPで公開 ☐ 広報誌・会報誌等で公開 ☑ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 ☐ 情報開示請求があった場合に開示 ☐ その他　（　　）※具体的な公開手段を記載してください。 ※上記いずれかの公開が必要です。		
		公表した内容（複数選択可）	☐ 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） ☑ 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） ☐ 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） ※上記いずれかの公表が必要です。		
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか			☐ 行った　☑ 行わなかった	実施方法	
備考					